



広報

みまた

59/3月号

発行

昭和59年3月10日

(第182号)

宮崎県北諸県郡三股町

編集

職員課

電話 52-1-1



今月の主な行事

- 3月19日(月) 肥満者学級(中央公民館)
- 22日(木) 健康相談と栄養改善教室(7地区公民館)
三種混合予防接種(中央公民館)
- 23日(金) 健康相談と栄養改善教室(東原児童館)
- 26日(月) 糖尿病教室(中央公民館)

健やかな成長を願って

3月3日は「ひなまつり」で、ひな人形を飾り、白酒、ひしもち、桃の花とともに飾り物の嫁入り調度を備えて、女の子の健やかな成長を願う行事です。町内の各保育園でも歌、や紙芝居などが行われ、園児たちも楽しいひとときを過ごしました。

《写真：りんどう保育園》

第5次拡張事業に着工 事業費9億円で計画

私たちの生活にかかせないのが水。安全で豊かな水をより多くの住民に給水するため、町では水道事業を行っています。本町は恵まれた立地条件のもとに給水人口も年々増加し、生活性ならびに産業用水などで安定供給を確保するため、第五次拡張事業に取り組んでいます。

一方、経営面でも、検針の業務委託や事務の合理化などを積極的に進めながら経費の節減に努めています。



配水管布設状況

この事業は、井戸三ヶ所の新設をはじめ、管理棟(発電設備と中央操作盤など)の建設を計画しています。

本町は、上水道第五次拡張事業を昭和五十九年度から五ヶ年継続で着工しました。

町の上水道事業は、昭和三十五年に人口五千名を対象として給水を始めましたが、その後、人口の増加とともに、配水管の布設が進んでいます。

事業費九億円が投じられる計画であります。

水人口一万六千名)の整備を行ってきました。しかし給水量は著実な伸びを続けており、昭和五十七年度末には一日最大配水量六千八百三十リットル、給水人口一萬七千六十九名と給水計画を上回る現状であります。

更に、今後も土地区画整理事業による宅地造成などから給水人口の増加が見込まれており、第五次拡張事業の施設は昭和六十六年度までに規模拡大を行うもので、目標に規模拡大を行ふもので、



中央7号井戸ボーリング状況



青少年の豊かな心を育てる運動

三月二十一日から四月十五日まで

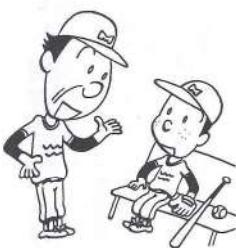
三月から四月にかけては、進学や就職を目前にした少年たち、また、この時期に転勤をする父親などもいて、ふだんとは違う运动があります。進級、卒業、友人との別れ、新しい環境への期待と不安など。少年たちの心は揺れ動いています。この時期にあたり青少年が自ら規律ある生活を送り、明るく元気に、たくましく伸びるように三月二十一日から四月十五日まで青少年健全育成運動が展開されます。

子供たちに「基本的な生活習慣」を身につけることは、健全な心を育していくと同時に、健康な体をつくることも重要です。

基本的な生活習慣を身につけよう

特に小学生、中学生のころは、体の発達が一生のうちでいちばん盛んです。この時期に体を鍛え、たくましい体と精神面での粘り強さを身につけさせるようにします。

子供たちに「基本的な生活習慣」を身につけるには、健全な心を育していくと同時に、健康な体をつくることも重要です。



事故防止は家族ぐるみで 新入学児の交通安全

新学期ももうすぐ。どのご家庭でも、希望に胸ふくらむ季節ですね。しかし、忘れてはならないのが交通事故です。とりわけ新入学を迎える子供たちは、通学はじめるとともに、行動範囲はぐんと広がります。しかし、子供の場合、新しい環境への適応力がなかなか伴いません。

そのため、この時期は新入学児童の交通事故が心配されます。入学を前に、ご家庭でぜひ交通ルールやマナーについて話し合いましょう。

ドライバーの皆さんへ

子供を交通事故から守るために、子供を交通事故から守るために、子供の姿を見たらスピード転と、子供たちへの思いやりが必要です。ぜひ、次の点を厳守してください。

●子供の「飛び出し」は突然的です。子供の姿を見たらスピード転と、子供たちへの思いやりが必要です。ぜひ、次の点を厳守してください。

●左折、右折するときは、周囲に自転車に乗った子供や歩行者に十分注意し除行を！

●明日の準備は、寝る前にさせましょう。

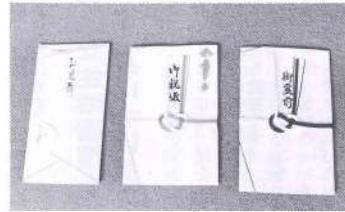
●登校時間に余裕を持たせましょう。

●入学時は、新入学の間に余裕を持たせましょう。

●忘れ物をして、途中であわててしまう。



もう一度考えてみませんか 冠婚葬祭



ので二千七百六十一世帯から回答率八六・二八%が寄せられました。(回収率八六・二八%)
尚、本町については、回答百七十九世帯で回収率八九・五%でした。

新生活運動は地域住民が一体となって行う住民運動あります。毎年ハヂになりつある冠婚葬祭の簡素化を——と町民総ぐるみの新生活運動推進協議会が昭和四十九年に発足しました。その後、物価の値上がりや皆さんにこの運動の趣旨や内容がよく理解されていないせいか、合理化運動を呼びかけているのが実状です。

そこで今回のアンケート調査の結果をみてみましょう。
新生活運動は地域住民が一体となって行う住民運動あります。毎年ハヂになりつある冠婚葬祭の簡素化を——と町民総ぐるみの新生活運動推進協議会が昭和四十九年に発足しました。その後、物価の値上がりや皆さんにこの運動の趣旨や内容がよく理解されていないせいか、合理化運動を呼びかけているのが実状です。

この調査は、都城市二千三百と郡内各町二百ずつの三千二百世帯を対象に虚礼廃止運動、結婚披露要、葬式などについての実状を把握し、今後の施策の参考資料とするため実施されたものであります。



勝岡スポーツ少年団が県本部長賞に輝く

県スポーツ少年団本部が贈る、優秀団体に勝岡小スポーツ少年団が選ばれ、去る2月13日本町の中央公民館で表彰式が行われました。

勝岡スポーツ少年団は、母集団と指導者が協力し合い、スポーツ（主に野球とソフトなど）を通じて、団員の交流や親子レクリエーションなどで青少年の健全育成を図っています。一方では、地域内の道路や公園などの美化活動（清掃奉仕）も続けており、各般にわたる活動は他の模範であり今回の受賞に輝いたものです。

保健教育で10ヶ国から訪問

宮村小学校

第5回国際寄生虫予防指導者セミナーの一一行約18名が2月3日宮村小に訪れました。

一行は中国をはじめインド、イラク、タイなど10ヶ国の政府関係者で寄生虫予防や保健教育活動の実態研修のため訪れたものです。

午前中は保健教育について学校からの説明や業間運動（俸体操）、各教室での授業などを参観し、午後からは全校児童との交歓会が体育館で行われました。言葉が通じないながらも態度で示す遊びに、児童たちに交じって楽しかったひとときを過ごしました。



防火方法を受講

長田地区婦人会

長田地区婦人会では、先ほど、防火講習会を轟木集落センターで開きました。

春先は空気が非常に乾燥し、1年を通じて最も火災の発生しやすい季節であります。

同婦人会はこの季を前にして、火災予防に対する認識を深めようと、都城消防署と地元消防団員を講師に招いて、火災発生の実例を交えながらの講義を受けた後、消火器を使っての消火訓練を行い、防火意識の高揚を図りました。

小雨の中を力走

町健康走ろう会

町健康走ろう会は、2月12日中央公民館前（出発）から桜山入口までのコースで熱戦が展開されました。

大会は、あいにくの小雨にもかかわらず325名が参加。選手たちの懸命な力走に沿道につめかけた人々から声援が送られていきました。成績は次のとおり（1位のみ）

距離	男	女
1.2km (小1・2年)	馬場 ひろみつ	竹 みゆき
1.5km (小3・4年)	野間 新一郎	西 美和
3km (小5・6年)	門 協 浩二	西 みゆき
(中学生)	西 順	江子
(青年・婦人)	西 順	江子
5km (中学生)	東 村 水谷	西 美和
(高校)	高長 新	和也
(一般)	村 水谷	秋和也



活力のある商工業について懇談会

町商工会

町商工会では、活力のある商工業の振興を図るために、先ほど、地域問題に関する懇談会を商工会で開きました。

これは長らく景気低迷を打開するための方策を見いだすもので、各種団体（県労政事務所ほか3団体）の代表者と商工会役員約30名が参加。「町商工業における将来の展望」をテーマとして懇談し、商工業の活性化には、地場産業の振興や企業誘致なども必要ではと活発な意見が交換されました。



にぎわう体育まつり

町婦人連協

町婦人連協では、会員の健康保持と体力の増進を図るために、2月12日恒例の体育まつりを武道体育馆で開催しました。

婦人会は、青少年の指導育成や消費生活改善などの研修を重ねられ、楽しい家庭と明るい地域社会づくりに努められています。

今回の体育まつりは、会員を7地区に編成し、団技やリレー、踊りなどに館内は声援と歓声につつまれ、楽しいひとときを過ごしました。

尚、成績は次のとおり
優勝 第2地区 2位 第7地区 3位 第6地区

肉豚枝肉共励会を開催

肉豚部会

町肉豚部会（会長西村登）では、去る1月29日鹿児島県末吉町の南九州畜産業で枝肉共励会を開催しました。

この枝肉共励会は、肉豚の資質改良ならびに育成技術の向上を図るもので、日ごろ飼育している豚30頭が枝肉として出品されました。日本食肉格付協会の審査員が1頭ずつ格付しながら、生産者に体形や肉づき、背脂肪の厚さ、色沢などの説明をして、上物づくりの飼育技術を学びました。

尚、審査の結果は次のとおり
1位 西村 登（餅原）
2位 半代賢一（坂屋）
3位 米村 滉（梶山）



樺山A・桜山少女が優勝 町スポーツ少年団駅伝競走大会

町スポーツ少年団15クラブによる、第1回の駅伝大会は、去る1月28日開かれました。

大会には23チーム（男16）が参加し、第2地区的農道を1周する10km（男8・女10区間）でレースが展開されました。中央公民館前を午後2時30分スタート、各選手たちは寒風の中を父母や兄弟の声援を受け懸命に走りました。

尚、成績は次のとおり
男子 女子
優勝 樺山A 桜山少女バレーボール
2位 勝岡A 三股少女バレーボール
3位 勝岡B 勝岡バトミントンA



